令和元年度愛媛県原子力防災訓練　実施結果概要

1　訓練の目的

伊方発電所で事故が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

2　実施日時

令和元年10月３０日（水）　８：30～15：00

3　実施場所

愛媛県庁ほか、発電所を中心とした概ね半径30㎞以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

4　訓練項目

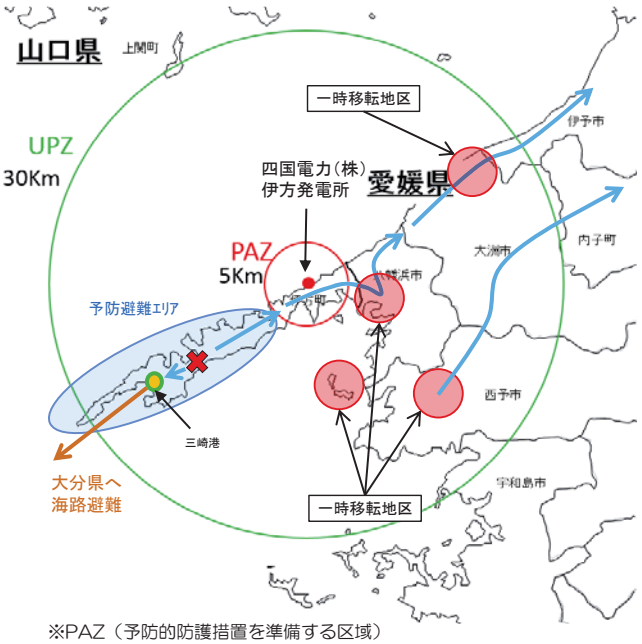
(1)緊急時通信連絡訓練　(2)緊急時ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ訓練
(3)災害広報訓練　(4)災害対策本部訓練
(5)ｵﾌｻｲﾄｾﾝﾀｰ運営訓練(※1)　(6)原子力災害医療活動訓練
(7)自衛隊等災害派遣要請訓練　(8)住民避難・誘導訓練
(9)要配慮者避難訓練　(10)交通規制訓練
(11)発電所内緊急時対応訓練　(12)道路啓開訓練

※1　オフサイトセンター運営訓練は9/11に実施
※2　携帯電話通信網を活用したドローンによる物資搬送等の実証実験を実施。また、ドローンと有人ヘリの同時飛行時における位置情報共有の有効性を検証する実証実験もＪＡＸＡと共同実施。

5　参加機関及び参加人数

９７機関　20,684人

（内訳）広域避難参加者　225人
屋内退避参加者　19,333人
関係機関参加者　1,126人
（オフサイトセンター運営訓練参加者を含む）



※PAZ（予防的防護措置を準備する区域）
（Precautionary　Action Zone）
※UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）
（Urgent Protective Action　Planning Zone）
※予防避難ｴﾘｱ
（PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備する区域）

＜訓練想定＞
(1)地震発生に伴い、伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、全交流電源の喪失及び1次冷却材の漏えいが発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じた。
(2)旧瀬戸町、旧三崎町の境界付近で道路寸断
(3)八幡浜市、大洲市、西予市の一部地区で、一時移転指示。

重　点　項　目

- 孤立地域における住民避難の多様化
  - ・道路寸断を想定した海路及び空路による避難（伊方町）　※大分県での新規受入自治体（臼杵市・豊後大野市）
  - ・離島住民の海路による避難（八幡浜市大島）
- UPZにおける住民避難体制の充実
  - ・自衛隊車両による住民搬送（大洲市）
  - ・複数自治体（八幡浜市・大洲市）からの避難者受入（松山市）
- ドローンの更なる活用の実証実験
  - ・携帯電話通信網を活用したドローンによる映像伝送・物資搬送（大洲市・西予市）